

# えべつ 市議会だより

平成20年11月1日発行

## No.95

発行 江別市議会  
江別市高砂町6番地  
電話011(381)1051

編集 市議会報編集委員会

印刷 株式会社須田製版



道警音楽隊演奏並びにカラーガード隊グランドドリル～秋の全国交通安全運動～

水道・下水道・病院事業会計決算を認定

## 主な内容

- ◇第3回定例会の概要…………… 2～3
- ◇一般質問…………… 4～7
- ◇決算審査の概要、議会の動き…………… 8

市議会ホームページ <http://www.city.ebetsu.hokkaido.jp/gikai/>

●この市議会だよりは再生紙を使用しています。

# 平成20年 第3回 定例会

## 条 例

◎手数料条例の一部改正  
住民基本台帳カード普及促進のための国の特別交付税措置に伴い、本年10月1日から平成23年3月31日までに限り、再交付を除く交付手数料を無料にするものです。



地方自治法の一部改正に伴い、政務調査費の交付に関する条例において引用している条項を改めるとともに、特別職報酬等審議会条例において議員の報酬の名称を議員報酬と改めるものです。

◎市議会議員の議員報酬等に関する条例の制定  
議員の報酬等に関する規定は他の行政委員会等の委員と同一の条例により定められていましたが、地方自治法の一部改正に伴い、議員報酬としての位置付けをより明確にするために、議員について規定した部分を分離させて、新たな条例とするものです。

◎放課後児童クラブ利用者負担金徴収条例の制定  
児童センター内で市が無料で実施している放課後児童クラブ3か所について、有料の民間放課後児童会との不均衡を是正するため、平成21年4月1日から新たに利用者負担金を徴収しようとするものですが、同一世帯からの2人目以降は半額とすることなどについて定めるものです。

### ◎市税条例の一部改正

地方税法等の一部改正に伴い、既に所得税の寄附金控除の対象となっている団体等の中から、地域の住民福祉の増進に寄与する社会福祉法人等を新たに適用対象とすることで、個人住民税における寄附金控除の指定団体を拡充するものです。

◎市議会政務調査費の交付に関する条例及び特別職報酬等審議会条例の一部改正

## 一 般 議 案



森の子児童センター

項を改めるものです。

◎江別市・新篠津村合併協議会の廃止  
平成19年1月に合併協議会を設置して以来、合併に向けた協議を行ってきましたが、農業施策に関して意見が一致せず、本年7月に新篠津村から合併協議取下げの申出があったことから、9月30日をもって合併協議会を廃止するものです。

◎北海道市町村備荒資金組合規約の一部変更  
全道の市町村からの納付金を積み立てて災害対策資金の交付や防災資機材の譲渡事業等を行っている備荒資金組合が、財政難に陥った市町村に対して緊急避難として納付金を返還できるように規約を変更するものです。

### ◎財産の取得

中学校の情報教育の整備・充実を図るため、中学校3校分の教育用コンピュータ129台を更新用に取得するものです。

### ◎損害賠償の額の決定

中学校の体育の授業中に発生した事故で負傷した生徒側への損害賠償の額を決定するものです。

### ◎市議会会議規則の一部改正

地方自治法の一部改正に伴い、規則中で引用している条

## 予 算 ・ 決 算

### ◎一般会計補正予算

国・道の補助負担金の確定に伴う措置のほか、緊急を要するものへの措置などにより9千880万4千円を増額し、予算総額は、386億9千291万7千円になりました。

◎介護保険特別会計補正予算  
 決算に基づく国費等の返還金のほか、決算剰余金を基金に積み立てるため1億1千810万3千円を追加し、予算総額は、62億610万3千円になりました。

◎水道事業・下水道事業各会計補正予算  
 水道事業は財団法人江別市水道サービス公社清算に伴う残余財産寄附額の確定による特別利益として473万3千円を増額し、下水道事業は平成19年度に臨時的に措置された公的資金補償金免除繰上償還に伴う支払利息の減額などにより総額で1千877万6千円を減額しました。

◎平成19年度水道・下水道・病院各事業会計の決算認定  
 各事業会計決算が認定されました。

審査経過など詳しくは8ページをごらんください。

## 報告

◎専決処分

交通事故による物的損害の賠償について、相手方との示談が成立した旨報告されました。

た。

◎水道・下水道・病院各事業会計の資金不足比率の報告  
 地方公共団体財政健全化法に基づき平成19年度決算について報告されるもので、水道及び下水道については資金不足はないものの、病院については資金不足比率19・3%との報告がありました。



水道配管工事の様子

◎健全化判断比率の報告

地方公共団体財政健全化法に基づき平成19年度決算について報告されるもので、実質赤字比率・連結実質赤字比

率・実質公債費比率・将来負担比率の4指標すべてが早期健全化基準を下回っている旨報告されました。

◎一般会計の継続費精算報告  
 平成18・19年度の2か年の継続事業であった旧焼却処理場の解体及び危険ごみストックヤードの設置が完了し、総事業費は3億9千852万7千500円であった旨報告されました。

## 請願・陳情

■採択となった陳情

◎後期高齢者医療制度の廃止を求めることについて  
 全日本年金者組合江別支部 支部長 森元昌輔氏

◎後期高齢者医療制度の廃止を国に求めることについて  
 住みよい大麻をつくる会 代表 橘宏氏

◎後期高齢者医療制度の廃止を求めることについて  
 新日本婦人の会江別支部 支部長 神保郁子氏

◎後期高齢者医療制度の中止・撤廃を国に求めることについて

後期高齢者医療制度の廃止を求める江別地域実行委員会 代表 下田玲子氏

■継続審査となった請願  
 ◎精神障害者の交通費助成を求めることについて  
 江別市精神障害者の交通費助成を求める会 代表 岩佐哲夫氏

◎障害者自立支援法による「心益負担」の廃止を求め国に意見書の提出を求めることについて  
 江別市精神障害回復者クラブ 江別空色クラブ 会長 土屋晴治氏

## 意見書

次の意見書を国に提出しました。

◎後期高齢者医療制度の廃止を前提に医療制度の抜本的改革を求める意見書  
 本年4月から施行された後期高齢者医療制度について混乱が生じていることから、国民だれもが安心して医療を受けられるように、国民合意の下で、後期高齢者医療制度の

廃止を前提に医療制度の抜本的な改革を行うよう国に要望しました。

そのほか、次の意見書も国に提出しました。

◎地方財政の充実・強化を求める意見書

◎地方医療の確保に関する意見書

◎雇用促進住宅の退去困難者への支援強化に関する意見書

◎学校耐震化に関する意見書

◎父子家庭にも児童扶養手当の支給を求める意見書

◎農業生産資材等(燃油・肥料等)の価格高騰対策に関する意見書

## 決議

◎第5次総合計画特別委員会  
 の設置

平成16年度を初年度とする第5次総合計画は平成21年度から後期基本計画が始まりますが、江別市のまちづくりの指針となる重要な計画であることから、必要な調査等を行うために特別委員会を設置したものです。

# 一般質問

今定例会では、13人の議員が一般質問を行いました。各議員が行った質問の中から、2項目を選び、要約して掲載しています。

おだ よしやす  
**尾田善靖** 議員

環境・平和・市民の会

## 福田首相の政権放棄による江別市への影響

**問** 国政の最高責任者が2年連続して突然職務を投げ出すという事態に対し、市長は、市民生活への影響をどのように受け止めているのか。

**答** 政府は、8月に物価高や原油高への対応を柱とした11兆7千億円の経済対策を決定した。これらの対策に期待しているが、今回の首相辞任により地域経済への対応が遅れる可能性もあり、憂慮される部分もある。

現在のところ、市として具体的な対策を検討していないが、国の対策が決まり次第適切に対応したい。



## 中期財政見通し等への影響

**問** 猫の目のように内閣が代わる中で各種計画策定に苦勞していると思うが、中期財政見通しや総合計画に対する影響は。

**答** 中期財政見通しの試算に当たっては、現行の国の制度や政策を基本に歳入歳出を見込みながら算定しており、現時点で直ちに影響が出るものとは考えていない。

また、第5次江別市総合計画後期基本計画への影響もなものと考えている。



たかま せんいつ  
**高間専逸** 議員

新世クラブ

## 子育て支援

**問** 幼稚園の持つ地域の幼児教育のセンターとしての子育て支援機能を活用し、親と子の育ちの場としての役割などの充実のためにどのように連携を取るのか。

**答** 教育の担い手である家庭、学校、地域、社会は、それぞれ子供たちの育成に努めているが、子供たちを取り巻く環境が著しいスピードで変化する中では、当事者の努力だけでは解決が困難な課題がある。したがって、幼児教育の振興と充実のために情報交換などの活動を行っている江別市幼児教育推進協議会の中で、より一層の具体的な連携について検討を進めたい。

## 除雪対策

**問** 現在の除雪体制は、限られたお金と人員で計画的に効率の良い事業展開をしていると言われているが、現在のシステムで今後も対応できるのか。

**答** 除雪事業者にとっては、燃料の高騰や公共事業の削減などから除排雪に必要な機械力、労働力の確保が懸念されている。

このため、今後の除排雪事業の費用積算に当たっては、これらに配慮した価格となるよう努める。

今後においても、市民の理解と協力を得ながら、安全で安心な冬の暮らしを確保するため、除雪事業を進めたい。

このほかに、防災、環境、江別東IC周辺土地利用、交通安全について質問がありました。

ほりうち すずむ  
**堀内進** 議員

民主の会

## 夕張市への職員派遣

**問** 非常事態に直面した夕張市に職員を派遣し、行政経験を積ませるかどうか。

**答** 本市では以前より、国道、札幌市その他関係機関等へ職員を派遣しており、派遣の適否についてはその都度必要に応じて判断し、財政事情等も考慮しながら実施しているが、その前提としては当市の業務に支障がないことが重要と考えている。

こうしたことから、今、直ちに夕張市へ職員を派遣できる状況にはないものと考えている。

## 全国学力テスト

**問** 全国学力テストの結果を踏まえ、市独自の取り組みとして、国語教育の充実に向けた特別の対策を考えているのか。

**答** 道教委の事業としては、小中学校6校に非常勤講師を配置する中で、小学校1校に国語指導の講師を配置している。そのほかに学力向上支援員を小中学校それぞれ1校ずつに、市の非常勤職員として校長OBなどを配置した。国語の力は他の教科における学習の基礎となるものであるため、読書環境の整備を通じて国語教育の充実を図りたい。

このほかに、住宅政策、農畜産物のブランド化について質問がありました。



小学校の授業風景

よしもと  
かずこ  
**吉本 和子** 議員  
日本共産党議員団

**公的賃貸住宅の必要性**

**問** 市の住宅政策における公的賃貸住宅の位置付けについて、どう認識しているのか。

**答** 本市の公的賃貸住宅には、低所得者を対象とする市営住宅と道営住宅、さらに国の住宅施策として中堅所得者を対象とするUR賃貸住宅や雇用促進住宅がある。

これらの公的賃貸住宅は、それぞれの役割の下に良質な住宅を供給しており、本市の住宅施策においては、重層的な住宅セーフティ・ネットとして位置付けていることから、引き続きの運営が必要であると認識している。

**安全な生活道路の整備**

**問** 学校や公園周辺の側溝は子供たちが遊んだり通行する際に危険であるため、ふたをするなどの対応について伺いたい。

**答** これまでも地域の自治会などから側溝や舗装に関する様々な要望が寄せられており、

その都度現地調査を行い対応している。道路をより広く利用したいという市民の要望を受け、現在は側溝を埋めて道路用地のすべてを改良舗装している。

学校周辺の道路については、これまでも特に整備順位を早めるなどの対応をしているが残る学校周辺の路線についても、できるだけ早期の整備を行いたい。

このほかに、市長の基本姿勢、教育行政、農業行政について質問がありました。



そうま  
よしか  
**相馬 芳佳** 議員  
公明党

**学校図書館整備**

**問** 学校図書館整備に向けた予算配分についてどう考える

か。また、図書ボランティアの援助を推進してはどうか。

**答** 整備に必要な消耗品等の購入予算は蔵書の点検や整備には不可欠であり、また、情報図書館の司書派遣事業に伴う需要の高まりから、今後、必要な対策を検討したい。

情報図書館では、学校の要請により、ボランティアの技術講習会等に指導者の派遣を行っているが、今後も、指導技術の向上や指導者の育成を図ることで、ボランティアを支援したい。

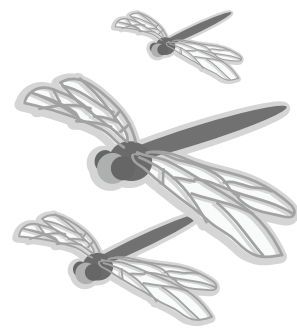
**性感染症予防**

**問** 性感染症に関する啓もう活動に更に取り組む必要があると思うが、市長の見解は。

**答** 本市では、これまで性感染症を含め国、道や関係団体が実施する保健・福祉に関する事業を通じて、市民に向けた啓発や周知を行ってきた。

性感染症に関する知識の啓発と感染予防に努めることは市民の健康を守るためにも重要な取り組みであると認識しており、今後とも保健所や教育機関と連携を図りながら、青少年期からの性感染症の予防啓発に取り組みたい。

このほかに、市民協働の推進、高齢者福祉について質問がありました。



みやざわ  
よしあき  
**宮澤 義明** 議員  
公明党

**食に関する企業の誘致**

**問** 食品関係の各企業を誘致できた要因と今後の課題は。

**答** 市内の食品製造関係企業を対象に行った調査結果では、札幌市に近い、交通アクセスが良いといった点に優位性を感じる企業が多く、これが立地の決め手にされていると考えている。

また、今後は、地元農産品の高付加価値化との連動、企業等への安定的な原料供給の仕組み、体制づくりについて、市周辺農家やJA道央等とどのように連携できるかなどが課題であると考えている。

**緊急通報システムの増設**

**問** 緊急通報システムの増設と、これに代わる別のシステムの検討への市長の見解は。

**答** 現状においては緊急度の高い方を最優先して配備しており、既に必要な端末台数は設置されていると考えている。

今後は、高齢者人口の増加や機器の更新等による必要な台数を見込みながら、江別市高齢者総合計画に盛り込み、システムの充実を進めたい。

なお、センター装置の更新を昨年度行っているため、現状では、現行システムを活用したいと考えている。

このほかに、教育行政、総務行政について質問がありました。



ほしば よしこ  
**干場 芳子 議員**  
 環境・平和・市民の会

**後期基本計画原案の見直し**

**問** 市民アンケート結果や行政審議会での意見がどのように反映されていくのか。

**答** 今回の計画原案は広報えべつへの掲載や市内公共施設に資料を配置するほか、行政審議会の審議状況についてホームページにおいてすべてを公開するなど、広く周知を行いながら、パブリックコメントを募集している。

**問** いただいた意見は広く市民に公開し、それらの意見が反映された計画となるよう努めたい。

**シックススクール対策**

**問** 子供たちが安心して過ごせる学校の環境を守ることを目指し、シックススクール対策マニュアルを策定するべきではないか。

**答** 学校施設等に起因する健康問題が発生しないよう、文部科学省が定める学校施設整備指針などによる留意事項を参考に学習環境の確保に努め

ている。

子供たち一人ひとりが安心して学習できる学校環境づくりの視点に立ち、先進都市の事例を参考に、どのような事項についてマニュアル化することが可能なかを含め、建設部と連携の下、作成について検討したい。

このほかに、江別市自治基本条例(仮称)、福祉政策について質問がありました。

**諏訪部 容子 議員**  
 民主の会

**江別市自治基本条例(仮称)の理念**

**問** 自治基本条例は、家の基礎のようなものであり、基本的な事柄が理念として網羅されていれば良いと思うがいかがか。

**答** 理念については、市民一人ひとりが、自治の主役として市政に関する情報を共有し、自らの責任において主体的に考え、積極的にまちづくりに参加・協働しながら、より良いまちづくりを推進することなど考えている。市民が主体となった懇話会から、江別に

ふさわしい条例素案の提言をいただいております、今後も市民の思いを形にしていきたい。

**学校耐震化改修計画の促進**

**問** 学校の耐震化計画を前倒しして実施するべきと考えるがいかがか。

**答** 計画の前倒しについては、現在も国の補正予算等により対応しているが、老朽対策など大規模改修事業や、小中学校の適正配置の見直しなどに留意しながら、耐震化事業がより一層効率的で効果的なものとなるよう進めていく必要があると考えている。

小中学校の耐震化の推進については、これまで以上に、他の公共施設に優先して進めていきたい。

このほかに、職員の育成について質問がありました。

**岡 英彦 議員**  
 無所属

**人口減少時代の市政運営**

**問** 市政運営の長期的なスパンでの基本的なスタンスをどう考えるか。

**答** 将来人口推計は、平成25年で12万2千64人、平成30年で11万8千734人と見込んでいます。高齢化の進行と人口減少下では、労働人口が減り、税収が落ち込むというところは想定しなければなりません。経費の掛からないコンパクトなまちづくりをしなければ、今後の市町村運営は非常に難しいため、市民の方にもどういう生活をして、どういう地域で暮らすことがどういうことに影響するのか、そういう点を認識していただきながら、まちづくりを進めていく必要がある。

**医療、福祉等に係る政策の検討**

**問** 高齢者の増加に対し、医療、福祉等に関する総合的な視点からの政策の検討が必要ではないか。

**答** 現在の計画の中では、法律に基づいた施策を進めている。これらの計画に基づく市の施策は、最近の医療制度の改革など国の制度が大きく影響するため、このような変革期に長期の計画を策定することは非常に難しい。また、高齢者の計画には必ず資源問題が出てくるが、役所として、

評論になるわけにはいかない。現在は10年のスパンでの計画を作っており、明らかな根拠を示してルールに沿って確実に進めたい。

このほかに、タウンミーティング、省エネルギー機器導入資金融資制度について質問がありました。

**伊藤 豪 議員**  
 無所属

**江別市自治基本条例(仮称)の中間報告**

**問** 今回の自治基本条例案には自治会についての言及や規定がないが、市長の見解は。



**答** 自治会はまちづくりを進める上で大変重要なパートナーであると認識している。しかし、まちづくりには、自治会をはじめ、市民活動団体、ボランティア、企業、学校など、様々な団体が存在し、

それぞれが役割を持って活動しているため、条例の検討の中では、個別の団体を明記することはせずに、広く市民という表現の中に含めて検討している。

名所・史跡等のPR

市内の名所・史跡等の標柱や説明板の設置に積極的に取り組むべきではないか。

本市では、平成12年から隔年で江別ガイドブックを発売しているほか、史跡等に文化財標柱や説明板を設置しており、今後も計画的に進めていきたい。

また、観光協会や教育委員会との連携を深め、広報誌やホームページを活用するように、周知に工夫したいと考えている。

このほかに、市内の中小公衆浴場について質問がありました。

林 かげき 議員

環境・平和・市民の会

朝日町公共代替地

江別市土地開発公社が先行取得した朝日町公共代替地

を将来、市が買い戻す予定とされているが、どのような事業に利用されるのか。

当初は、宅地造成による人口増に対応するための消防出張所建設用地として利用する予定であったが、現状では極めて難しいと判断しており、売却も含めて検討したいと考えている。

長期保有地解消事業計画

長期保有地解消事業計画は、計画策定時に市の顧問弁護士などの助言や相談を受けて策定したのか。

本事業計画策定に当たっては、庁内の関係部局の課長職による保有地処分計画策定会議を設置して、国の通達等に基つきながら検討を行ったところである。

なお、今後新たな問題等が生じた場合には、必要に応じて、国や道との協議や顧問弁護士との相談をしていきたいと考えている。

野村 尚志 議員

新世クラブ

学校適正配置

江別市立小中学校の適正配置に関する今後の見通しや考え方は。

今後、児童生徒数が減少していく見込みの中で、小規模によるデメリットを解消し可能な限り一定水準の学習環境を確保するため、過小規模校、小規模校それぞれに基準を定めて取り組んでいきたいと考えている。

また、改築をして統合校を建設する場合には、江別市のまちづくりの中に位置付け、今後のモデルとなるような複合的な機能を兼ね備えた学校づくりを構想したい。

学校・家庭・地域の連携

学校・家庭・地域の一体化は、具体的な行動を伴う事業の推進等を考えることが大切だと思いがいかか。

本市においては、平成13年度より地域一体型・学校顔づくり事業を実施し、翌年度からは教育委員会事務局に体

験・ボランティア活動支援センターを設置した。

今後、こうした事業を中心に、より地域との行動連携に重点を置いた事業展開を推進するとともに、地域教育協議会についても情報を収集し研究したい。

このほかに、産業振興について質問がありました。



学校と地域の交流

坂下 博幸 議員

公明党

助産師外来の創設

市立病院での助産師による分べん外来の創設について検討してはどうか。

助産師外来の創設は、産婦人科医や助産師の確保が前提となるため、それが満たさ

れた後に検討したい。

なお、10月から産婦人科外来は、月曜日から金曜日までの毎日の診療が可能となる。

また、助産師や看護師などのスタッフの環境が整った段階で、現在休棟している西3病棟を女性病棟として再開し、平成21年度の早い時期に分べんが再開できる体制を整備したい。

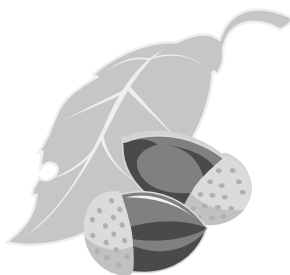
高齢者のための住宅施策

比較的介護度の低い元気な高齢者を受け入れる住宅の整備が必要ではないか。

本市では、安心を感じる保健・医療・福祉の充実を重要施策の一つに掲げ、高齢者福祉や社会保障の充実とともに、高齢者や障がい者が安心して生活できる住宅の提供を目指しているが、比較的元気な高齢者向けの住宅の整備については、民間と公共の連携を図ることが必要と考えている。

今後、安心して暮らせる居住環境の整備に向け、国や道の動向を見極めながら、必要な対応について検討したい。

このほかに、教育行政について質問がありました。



# 決算審査の概要

平成19年度の水道・下水道・病院の各事業会計決算は、定例会初日に9名で構成する決算特別委員会に付託され、4日間にわたり審査が行われましたので、主な質疑の概要をお知らせいたします。

なお、本会議では、3会計いずれも全員一致で認定されました。

## 主な質疑の概要

(1) 水道事業会計・下水道事業会計について

**問** 公的資金補償金免除繰上償還制度を利用して企業債の繰上償還を行うことにより、どの程度のメリットがあるか。

**答** 水道事業では高金利時代に借り入れた企業債のうち5億2千350万円を借り替えることにより支払予定利息は約8千425万円軽減される見込みである。

**問** 下水道事業では19億4千万円を借り替えることにより支払予定利息は約3億707万円軽減される見込みである。水道事業において、給水

戸数が増えているのに総給水量が減っているのはなぜか。

**答** 給水戸数はメーター数で算出しているが、分譲マンションで従来の集中検針のメーターから各戸別のメーターへの取替えが進んだほか、建築当初から各戸別のメーターを付けた単身用アパート等が増えてきたことなどにより給水戸数が増加した。

また、総給水量の減少は市内の大型店が平成19年度に閉店したことや人口の停滞、節水意識の高まりなどによるものと考えられる。

(2) 病院事業会計について

**問** 約6千300万円ある個人未収金についてどう対応しているか。

**答** 平成20年度から収納担当の職員体制を充実させたほか、未収金台帳の電算化や督促回数を増やすなど、未収状態を長期間放置しないように対応強化を図っている。

同時に、入院中の医療費の試算や各種助成制度の紹介、納付相談を実施し、未収金発生の抑制に努めている。

**問** 19.3%となった資金不足比率をどのように改善していくのか。

**答** 資金不足比率に影響する不良債務を公立病院特例債に振り替えることにより、収支の改善に努めながら計画的に返済を行いたい。

また、医師確保をはじめとする医療体制の整備を進めるとともに、休止病棟を再開して病床利用率を向上させ、できるだけ早く不良債務を解消していきたい。

平成19年度 各企業会計の決算状況 (単位：千円)

		収入	支出	差引収支額
水道事業	収益	2,454,980	2,154,163	300,817
	資本	622,470	1,527,838	△905,368
下水道事業	収益	2,958,776	2,754,465	204,311
	資本	2,969,885	4,374,918	△1,405,033
病院事業	収益	4,303,838	5,321,245	△1,017,407
	資本	294,368	425,323	△130,955

### 決算特別委員会委員

- ◎宮川 正子
- 三角 芳明
- 尾田 善靖
- 齊藤 佐知子
- 諏訪部 容子
- 角田 一き
- 林 かつき
- 森好 勇
- 山本 由美子
- ◎委員長 ○副委員長

### 議会の動き

#### 〔8月〕

- 21日 経済建設常任委員会
- 生活福祉常任委員会
- 22日 総務文教常任委員会
- 28日 議会運営委員会

#### 〔9月〕

- 3日～24日 第3回定例会
- 3日 決算特別委員会
- 4日 総務文教常任委員会
- 生活福祉常任委員会
- 8日 生活福祉常任委員会
- 10日 議会運営委員会
- 10日～12日 一般質問
- 16日～18日 決算特別委員会
- 24日 議会運営委員会
- 第5次総合計画特別委員会

#### 〔10月〕

- 7日 第5次総合計画特別委員会
- 8日 第5次総合計画特別委員会
- 14日 生活福祉常任委員会
- 17日 議会報編集委員会
- 20日～28日 決算特別委員会

### 編集後記

北海道は、日高山脈に初冠雪が記録されました。江市別市でも、ななかまどの木には真つ赤な実が今にも落ちそうになっています。残り少ない屋外でのスポーツやイベントに多くの市民が集い愉しんでいます。

また、実りの秋と言われるように、当地で収穫された農畜産物などが私たちのおなかを十分に満たしてくれるでしょう。

さて、今回の定例会では、13名の議員が一般質問を行い、決算特別委員会では、水道・下水道・病院事業会計決算が認定されました。

また、第5次総合計画後期基本計画が来年度からスタートするため、第5次総合計画特別委員会が設置されました。今後5年間のまちづくりの重要な指針となる計画ですので、市民の皆様への期待にこたえられるよう積極的に取り組んでいきたいと思っております。